人権・平和のまちづくりの推進に係る基本理念について (議論のたたき台)

基本理念

ソーシャル・インクルージョン

→条例に基づく基本方針であるため、その基本理念は、やはり「ソーシャル・インクルージョン」となるか。

(参考) 条例より

「人権侵害を許さない」という強い意志

ソーシャル・インクルージョンの理念

の下、

- ✓一人一人が当事者として、
- ✔自ら考え主体的に行動し、
- ✓互いの多様性を認め合い人権を尊重すること

によって平和なまちを実現すること

全ての人を社会的孤立や排除から守り、社会の一員として包み支え合うこと

= 「人権・平和のまちづくり」

この推進に係る「基本理念」

4つの目標

→骨子案で示している以下の4つの目標について、統廃合や細分化、言葉の整理 の必要はないか。

- 1. ソーシャル・インクルージョンを基本にした共生のまち
 - →上記「基本理念」を「ソーシャル・インクルージョン」とした場合、さらにこ の部分でこのような項目立てが必要か。
 - → 「共生のまち」とはどのようなまちを指すか。
- 2. 人権の意識を高め、個人がかけがいのない存在として尊重されるまち
 - →下記「3.」と内容が重複していないか。

「人権の意識を高める」 = 「多様性を受け入れ活かし合う」、 「個人がかけがいのない存在として尊重される = 誰もが自分らしく生きられる」

- 3. 多様性を受け入れ活かし合い、誰もが自分らしく生きられるまち
 - →上記「2.」と重複していないか。
 - →「多様性を受け入れ」という言葉が適切か。
 - →「誰もが自分らしく生きられるまち」とはどういう状態のまちを指すか。
- 4. 平和を希求し、協力と対話を通じて相互理解と交流を深めるまち
 - →「交流を深める」という言葉が適切か。「交流」を通じて「相互理解」を深めるではないか。